

おおくらだより



令和6年1月

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成
～あいさつ えがお げんき～

新年あけましておめでとうございます

いよいよ新しい年、令和6年が始まりました。しかしながら、元日から心を痛めるニュースが矢継ぎ早に入ってきました。能登地方の震災、羽田空港の衝突事故、本市鳥町商店街の火災などがありました。お亡くなりになられた方に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された方の生活が一日も早く元に戻るよう願っております。始業式の校長挨拶でも全校児童に「今の私たちにできることは何か」を問い、「今は、自分たちの日々の生活をコツコツと続けることが大事です」と伝えました。できることなら被災地に行って、子どもたちの話し相手になり、励ましたい。今できることを尽くしたい気持ちでいっぱいです。しかし、今はできません。今、私たちにできることは毎日を精一杯送ることです。先日は、輪島市の中学生が親元を離れて県の施設に移動する様子が伝えられましたが、涙で見送る保護者に対して気丈に振る舞う中学生の姿、見ていただけませんでした。私がもし教師としてその場にいたら、どうするだろうか。じっくりと話を聞いて心から寄り添うだろうけれども、一緒に落ち込むわけにもいかない。悩ませる暇を与えないくらいに明るく振る舞うかもしれない。でも、、、と、いろいろな思いが巡りました。ご家庭でも今一度、新聞やテレビを見ながら、子どもたちと一緒に考える時間を設けてみてください。

大谷選手からのグローブが届きました

12日(金)に本校にも大谷選手からグローブが届きました。早速、全員が触れるように各学級に回しました。今週は昼休みにキャッチボールをして楽しんでいます。今のところは全学級で楽しむようにしていますが、今後は希望制にして使っていきたいと考えています。

《大谷選手からのメッセージ》

ロサンジェルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平